



被爆75年 ひかりにむかって

♪みんな元気が がんばろうフェスタ 2020



2020年

11月21日 土

コジマホールディングス
西区民文化センターホール

powered by
 zoom
 YouTube



主 催

広島のうたごえ協議会・2020日本のうたごえ祭典inひろしま実行委員会

〒730-0853 広島市中区堺町1丁目2-9-101

Tel&Fax 082-295-5065 E-mail hiroutakyo@yahoo.co.jp HP <http://utagoenet.com/hiroshima>



ごあいさつ

被爆 75 年という記念すべき年に被爆地・広島で開催される日本のうたごえ祭典。

ヒバクシャをはじめとする人類の悲願であった「核兵器禁止条約」が、来年 1 月に発効されるという歴史的快挙を参加者みんなが囁みしめる中で、高らかに開幕のファンファーレが鳴り響くはずだった。世界的パンデミックとなった新型コロナウイルスは、その願いを打ち砕いただけでなく、いまなお、列島中を光が射さない暗澹たる影の中に落とし込んでいる。

しかし、地元広島の仲間は、怯まなかった。祭典開催は 1 年先送りとなったが、ウイルスを責めるべくもなく、これも「運命の出会い？」であったとするならば、運命だとあきらめることもできるし、また逆にいい運命に変えていこう、とがんばることもできる。

広島の仲間が択んだ道は、来年の祭典に希望をつなぐ取り組みとして、全国の仲間のオンラインでの合唱参加とともにつくる、「♪みんな元気か がんばろうフェスタ 2020」開催の決断であった。

さらに私たちには、いまひとつの決断が求められている。

地球に 140 万種あるといわれる動物の中の霊長類（万物の首長）、わけても最高の高等動物である私たち人間が、自らも、そして万物全てを瞬時に根絶やしにすることができる核使用のキャスティングボードを握っている。核兵器廃絶—これこそが、絶対かつ緊急の地上に共存する生物の命を未来へと託す永劫の決断である。

心ひとつに歌い交わそう!! 今フェスティバルの成功と、地元広島のさらなる運動の発展を心から祈念して。

日本のうたごえ全国協議会 会長 田中嘉治

本日は、ようこそおいでくださいました。皆さん、お元気でしたか？ようやくお会いすることができました。本来なら今日は、“2020 日本のうたごえ祭典 in ひろしま”の初日のはずでした。この一年近くはコロナ感染予防のため、歌うことや集まることが最も避けるべきこととされ、私達の活動も自粛に追い込まれました。改めてうたごえが人生をどんなに楽しく豊かにし、社会を潤し励ますものか実感しています。

被爆 75 年のこの年に、核兵器廃絶というひかりにむかって広島で開催しようと意気込んでいた日本のうたごえ祭典が、コロナ禍でできなくなり、呆然としながらも、希望をつなごうと延期を決めた春。

原水爆禁止世界大会がオンラインで開催され、文化企画「ねがい」を全国のうたごえの仲間と共に成功させた夏。

核兵器禁止条約がいよいよ来年 1 月に発効することになり、新たな運動のスタートに心引き締まる秋。

悩み、不安が募る中でも、諦めずに祭典を開催しようという気持ちが、一筋の希望の光になって、私たちを導いてくれました。

はじめ、このフェスタは、広島の仲間たちが元気になるようにと企画しました。取り組みが広がる中で、広島よりももっと厳しい状況の中にある全国各地の皆さんが、私達の呼びかけに応じて次々に立ち上がり、演奏で熱いエールを送ってくださいました。ライブとリモートを組み合わせた演奏交流に初挑戦です。まだ一堂に会することはできませんが、地元広島と全国の皆さんと一緒にこの日を迎えられることを喜び合いたいです。コロナ禍の今、これこそが日本のうたごえ祭典開催地がやるべきことだったのだと気づかされました。また、ゲストで出演してくださる声楽家の先生方のお話や演奏は、このフェスタを深い学びの場にしてくださいませ。楽しみですよ。

コロナ禍はまだまだ予断を許さない状況ですが、それを注視しつつ、このフェスタを機に、来年の日本のうたごえ祭典開催に向けて大きく舵を切ります。引き続き、皆さんの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

“2020 日本のうたごえ祭典 in ひろしま” 運営委員長 寺本美和子

ゲストプロフィール



バリトン 今田陽次

エリザベト音楽大学宗教声楽コース卒業。
独唱会回数は10回を超える。
声楽を故鈴木仁氏、平田昌久氏、波多野睦美氏の各氏に師事。

2019年11月に詩 四國五郎、作曲 坪北紗綾香による「弟への鎮魂歌（抄）」を発表。

2020年、演奏動画配信をYouTubeにて行い、

詩 四國五郎、作曲 山下雅靖「奪われたもの」詩 四國五郎、作曲 山下雅靖「灯ろう流し」を発表。

広島中央合唱団コンサートマスター兼ボイストレーナー、
広島少年合唱隊 隊長、シニア大学混声合唱団 指揮者、
Men's Vocal Ensemble “寺漢”Hiroshima Kantorei（広島カントライ）、
合唱団そら、広島メンネルコール ボイストレーナー。
エリザベトシンガーズ正団員。



ピアノ 山下雅靖

1991年の独奏会以降、今日まで演奏活動を続ける。
ピアノ独奏の他、室内楽、伴奏、作曲、編曲、無声映画上

映時での即興演奏、などの活動は多岐にわたる。

2017年より合唱指揮、合唱指導を開始する。2011年CD「冬の旅」をリリース。
エリザベト音楽大学ピアノコース卒業。
ぴあの学校代表。

2020年、四國五郎詞による「奪われたもの」「灯ろう流し」を作曲。



声楽家・古楽研究 内田陽一郎

東京藝術大学音楽学部声楽学科卒業後東京音楽大学専任講師を勤め1971～77年までイタリア留学。

77年国立ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院声楽専攻科修了。

帰国後、下関女子短期大学を経てエリザベト音楽大学に勤務する傍ら、広島大学教育学部、

島根大学教育学部、広島市立大学国際学部イタリア語非常勤講師などを歴任。

創作オペラ「はだしのゲン」の初演でゲンを演じた他、多数のオペラの主役を務めた。

現在、エリザベト音楽大学名誉教授、広島県合唱連盟顧問、
広島オペラアンサンブル理事、岡山アマービレ音楽院特別講師、
日本演奏連盟会員、女声合唱団ザ・スイート・レゾナンス及び
広島ベルカント男声合唱団常任指揮者。

声楽教室アミーチ・デル・カント（声友会）主宰。



ピアノ 迫千月

エリザベト音楽大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻修了。

第25回日本ピアノコンクール2位

入賞。

現在、広島ベルカント男声合唱団、及び女声合唱団ザ・スイート・レゾナンスの常任ピアニストを務めるなど、ソロや伴奏の演奏活動を幅広く行っている。

日本演奏連盟会員。

出演者紹介

指揮・高田龍治（フィナーレ曲指揮）

1972年、国鉄広島ナップーズ、広島合唱団に加わり、指揮・伴奏・作曲などを担当する。

1980年、組曲「俺たちのシルクロード」の制作に参加、全国上演の指揮を担当。これまで障がい者運動や平和運動に携わる中で、作曲を中心に様々なコンサート企画を手がける。またロシア・中国・韓国・アメリカ・スペイン等でのコンサートでは指揮やアコーディオン奏者を務める。

現在、広島合唱団など6つの合唱団を指揮。日本のうたごえ全国協議会常任委員。国鉄のうたごえ音楽監督。音楽センターひろしま代表取締役、広島のうたごえ協議会会長。作曲作品としては「俺たちのシルクロード」「みんな元気か」「風花」「ねがい」「町」などがよく知られている。

ピアノ・田中香月（フィナーレ曲ピアノ）

エリザベト音楽大学卒業。武蔵野音楽大学大学院、モスクワ音楽院大学院修了。エリザベト音楽大学博士（音楽）学位取得。現在、エリザベト音楽大学、同大学付属音楽園、広島修道大学非常勤講師、広島大学客員准教授。広島合唱団伴奏者。

プログラム

司会 丸子ようこ／平井充晴

オープニング

「みんな元気か」

アコーディオン / 高田龍治 ピアノ / 神辺真希
ギター / 山上茂典
合唱 / 国鉄広島ナッパーズ

第1部 広島と全国各地を結ぶ演奏交流

① 広島中央保健生協うたう会 青い空 (広島) LIVE

指揮 / 山岡靖子 ピアノ / 若森文野

♪「うた」

作詞 / 石黒真知子 作曲 / 林学

② 北海道ブロック / 北海道合唱団 LIVE

指揮 / 高島賢 ピアノ / 佐藤幸恵

♪「もしあなたがここにいれば」 折り鶴からのメッセージ

作詞・作曲 / 高島賢 伴奏編曲 / 佐藤幸恵

③ ときめきぽけっと (広島) LIVE

指揮 / 突田守生 ピアノ / 森川都

♪「あすという日が」

作詞 / 山本瓊子 作曲 / 八木澤教司

④ 東北ブロック / 郡山合唱団 video

ピアノ / 芳賀信行 ギター / 佐藤陽久

ベース / アッキー

♪「天国の岸边」

作詞・作曲 / レスターフラット & アールスグラッグス

日本語詞 / 高石ともや 編曲 / 小林康浩

♪「ケ・サラ」

作詞 / F. ミグリアッチ

作曲 / J. フォンタナ C. ペス

日本語詞 / にしむらよしあき

⑤ 合唱団エガンス (広島) LIVE

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 三好敬子

♪「美女と野獣」

作詞 / Howard Ashman 作曲 / Alan Menken

日本語詞 / 湯川れい子

⑥ 中越ブロック / ザ・イスカandal video

指揮 / 渡辺享則

♪「麦の唄」

作詞・作曲 / 中島みゆき 編曲 / 信長貴富

⑦ 呉うたごえサークルたんぽぽ (広島) video

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 秋月知恵子

♪「今が美しい」

作詞 / 村田さち子 作曲 / 鈴木憲夫

⑧ 関東ブロック / 東京のうたごえ合同 LIVE

指揮 / 鈴木勝雄 ピアノ / 藤森恵

♪「ノー・パサラン」

作詞・作曲 / カルロス・メヒア・ゴドイ

日本語詞 / 三浦昭悦 編曲 / 松永勇次

⑨ 生協ひろしま虹のコーラス (広島) LIVE

指揮 / 近藤まゆみ ピアノ / 向井理佐美

♪「母さんたちの贈りもの」

作詞 / 鍛冶恭子 補詞 / レガーテ 作曲 / 原田義雄

編曲 / 原田義雄・武義和

⑩ 中部ブロック / 愛知のうたごえ合同 video

ピアノ / 藤村記一郎 アコーディオン / 加藤実

♪「おくりもの」

作詞 / 石黒真知子 作曲 / 林学

♪「ぞうれっしゃよはしれ」

作詞 / 清水則雄 作曲 / 藤村記一郎

⑪ 男声合唱団ドンマイ (広島) LIVE

ピアノ / 神辺真希

♪「長崎の鐘」

作詞 / サトウ・ハチロー 作曲 / 古関裕而

編曲 / 安藤由布樹

⑫ 北陸ブロック / 福井のうたごえ合同 video

ピアノ / 中村はるな ギター / 齊藤清巳

♪「マスクマスク」

作詞 / 福井センター合唱団 作曲 / 清水雅美

⑬ 音戸ファミリーコーラス (広島) video

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 牛ノ浜由紀

アコーディオン / 高田龍治

♪「音戸回想歌」

作詞 / 石本美由起 作曲 / 四方章人

⑭ 近畿ブロック / 京都・滋賀のうたごえ video

キーボード / 齋藤きよ子 アコーディオン / 青木実

ギター / 今井常夫・佐藤大介

♪「歌いたい歌がある」

作詞・作曲 / うた草

⑮ 国鉄広島ナッパーズ（広島）

LIVE

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 神辺真希

ギター / 山上茂典 エレキギター / 高橋仁

♪「未来に栄光あれ」

作詞 / 罌香港人 日本語詞 / 小林 遥

作曲 / Thomas Dgxyhi 編曲 / たかだりゅうじ

⑯ 関西ブロック / 大阪のうたごえ合同

video

指揮 / 山本恵三 アコーディオン / 安宅由実、二村郁子、

中澤徳子 ギター / 鬼崎良弘、今井保、三好照一

エレキギター / 谷口晋一

♪「こころひとつに」

作詞 / 佐伯洋 作曲 / たかだりゅうじ

ピアノ編曲 / 小林康浩

⑰ うたごえイフ（広島）

video

指揮 / 三上和伸 ピアノ / 重頭恵美子

♪「出発」

作詞 / 山崎佳代子 作曲 / 松下耕

⑱ ハミングバード（広島）

LIVE

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 神辺真希

♪「芽吹く季節」

作詞・作曲 / 柚梨太郎 編曲 / 金井信

⑲ 四国ブロック / 愛媛のうたごえ合同

LIVE

ピアノ / 重松邦子

♪「この街で」

作詞 / 新井満 作曲 / 新井満・三宮麻由子

⑳ TF コーラス（広島）

LIVE

指揮 / 三上和伸 ピアノ / 神辺真希

♪「生命輝く明日へ」

作詞 / 江種宏治 作曲 / たかだりゅうじ

ピアノ編曲 / 小林康浩

㉑ 九州ブロック / 長崎のうたごえ合同

video

指揮 / 園田鉄美 ピアノ / 村川千佳

♪「核廃絶の列車でGO！」

作詞・作曲 / 園田鉄美

㉒ 広島合唱団（広島）

LIVE

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 田中香月

♪「リナッシェロ リナッシェライ」

作詞・作曲 / Roby Facchinetti

日本語詞 / 緒方一夫 合唱編曲 / たかだりゅうじ

第2部 ゲストのステージ

バリトン独唱

今田陽次 ピアノ / 山下雅靖

♪「さとうきび畑」

作詞・作曲 / 寺島尚彦 編曲 / 山下雅靖

～反戦詩人 四國五郎を想う～

♪「弟への鎮魂歌（抄）」

詞 / 四國五郎 作曲 / 坪北紗綾香

♪「奪われたもの」

詞 / 四國五郎 作曲 / 山下雅靖

♪「灯ろう流し」

詞 / 四國五郎 作曲 / 山下雅靖

お話と独唱

内田陽一郎 ピアノ / 迫千月

お話「ドレミの起源」

独唱 ♪ グレゴリオ聖歌「洗礼者ヨハネ賛歌」

♪「その柔らかな黒髪で」

作曲 / F. オブラドルス

♪「ちんちん千鳥」

作詞 / 北原白秋 作曲 / 近衛秀麿

♪「音戸の船頭歌」

安芸民謡

フィナーレ ライブ&リモート全国合同

♪「人間の歌」

作詞・作曲 / 山ノ木竹志

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 田中香月

合唱 / 広島合唱団 国鉄広島ナッパーズ

ご挨拶 寺本美和子

“2020 日本のうたごえ祭典 in ひろしま” 運営委員長

♪「町」

作詞 / 山ノ木竹志 作曲 / たかだりゅうじ

指揮 / 高田龍治 ピアノ / 田中香月

合唱 / “2020 日本のうたごえ祭典 in ひろしま”

運営委員会有志

□ 弟への鎮魂歌（抄）

弟よ

人間の死には さまざまあるが
流失する血液を

うつろなわが目で たしかめつつ死ぬのではなく
洗面器に吐いた血は

すばやくきみの目からとおさける おふくろがいて
頭髮が抜けおちれば 鏡をひたかくし

たとえ医者も看護婦も薬もなくても
うち割られ くされてゆく片足を

よつびて抱きしめてくれる おふくろがいたのだから

炎の下を這いながら目撃した

一瞬で消える死と

家屋の下で 焼き殺される死の

そのどれでもない

おふくろの両腕の中できみは死ねたのだから

弟よ

少年といつてよいか青年とよんでいいか

一八才の きみのからだが

小学校の校庭に

たとえ まぐろのように積みあげられ

石油をかけて焼かれたとしても

けっしてきみは ひとりぼっちではなかったの
だから

きみとしつかり おり重なっているのは

妹のような可愛い おかつぱの児

昔話をはじめたら止まらなくなる

働きの となりのじいさん

世話ずきで陽気だったおかみさん

きみの手をつかんで はなさない男の子

おっぱいの香りもうせぬ あかんぼたち

みんなみんなきみと一緒にんだから

まして

悲しみと

怒りにみちた眸に囲まれて

きみは炎になったのだから

四國五郎詩画集 母子像より

□ 奪われたもの

奪われたもの

わたしの

顔の半分と

むすこのからだ全部と

「かあちゃん」とよびかけてくる声と

父親似の

笑い声と眼と

みどりの葉と

ゆたかなみのりと

祖国と

□ 灯ろう流し

はなれないで ながれてゆきなさい

おとおとよ いもうとよ

ふたりは 仲よしだったから

三十二年たつても

二人は子どもだから

小声で唄いながら 流れてゆきなさい

あかと白の灯がきえぬうち

またたきが閉ぢないうち

わたしは河岸を去るから

みんなと一緒に流れてゆきなさい

四國五郎（1924－2014）について

四國さんは、3年間のシベリア抑留を経験しました。栄養失調と酷寒のなかでの重労働で体を壊しますが、療養中の病院で得意な絵が認められ、壁新聞や雑誌の表紙、挿絵に腕を振ります。

1948年に帰国後、広島に復員し弟の被爆死を知り、これをきっかけに、平和を望む彼の創作活動が始まります。記憶が薄れないうちに描いた1000ページにも及ぶ「わが青春の記録」。原爆詩人の峠三吉との共作「辻詩」。平和を祈念する数々の「母子像」。さらに、67歳にして参加したシベリア墓参・慰霊の旅を契機に描き始めたシベリア抑留の油彩や水彩など、生涯にわたって平和のための創作活動に命を燃やし続けました。

（東京都新宿区西新宿 平和祈念展示資料館で、
2019年12月に行われた企画展「四國五郎展」より引用）

ドレミの起源について

皆さんが良くご存知のドレミの階名唱法による音階は、イタリア中部のアレッツォ（Arezzo）のグイド（Guido d'Arezzo 992~1050）によって考案されました。それまでは、グレゴリオ聖歌は暗誦による口伝で伝承されていたため、記憶による間違いなどで長い年月の間に変化してしまうこともあったので、グイドの階名唱法は非常に画期的なものとして注目を浴び現在に至っています。但し現在のような五線譜ではなく当時は四線楽譜にネウマ（Neuma）と呼ばれる角譜で記されたものでした。（楽譜参照のこと）

グイドはグレゴリオ聖歌の『洗礼者ヨハネ賛歌』のラテン語の歌詞の頭文字をとって音階を考案しました。因みに洗礼者ヨハネの祝日は6月24日で、この日を「ドレミの日」と呼んでいます。修道院での聖務日課の夕方6時からの＜第2晩歌 **Vesper**i＞で歌われていました。

洗礼者ヨハネ賛歌のラテン語の歌詞

Ut queant laxis	汝のしもべ
Re sonare fibris	絃を奏でて
Mi ra gestorum	汝の妙なる
Fa muli tuorum	御業を称え得るように
So lve polluti	罪を除かせ給え
La bii reatum	この汚れある唇の
S ancte Jo annes	聖ヨハネよ

註：最後の **SI** は Sancte Joannes 「聖ヨハネ」の **SJ**（JはIと同じ）を充てています。冒頭の **Ut** は発音しにくい理由で主を表す **Dominus** の **Do** を充てたものが現在まで使われていますが、フランスではまだ **Ut** を使用しています。

（文責：解説：内田陽一郎）

2021年に延期した

日本のうたごえ祭典 in ひろしま

2021年12月3日^金～5日^日
(開催予定)

12月3日^金 月 記念音楽会 「ピースウェーブコンサート」

会場：広島文化学園 HBG ホール

月 合唱発表会

会場：広島市内各種ホール

4日^土 月 大音楽会 「コンサート・ヒロシマ」

会場：グリーンアリーナ

月 大うたう会

会場：グリーンアリーナ・小ホール

月 特別音楽会 「三人のアーティスト」

キム・ウォンジュン、普天間かおり、井上鑑

会場：アステールプラザ 大ホール

5日^日 月 碑めぐりうたう会

会場：平和公園内

月 献歌のひろば

会場：原爆ドーム対岸親水テラス

月 合唱発表会・オリジナルコンサート

会場：広島市内各種ホール

スタッフ

企画構成	2020 祭典企画委員会
舞台監督	渡常男
舞台監督助手	久村麻耶 久村忍 秋本望 高橋仁
音響	大木剛
照明	清水宏昌
音楽監督	高田龍治
映像記録	関邦久 藤井寿典 木村憲文
オンラインプロジェクトチーム	時田裕二 齊藤一正 高田龍治 大熊啓 上田敬恭 寺本学 寺本透 江頭涼太郎 隅広智子